

## 埼玉新都市交通

「新型車両 2020 系」が 2016 年度  
グッドデザイン賞を受賞しました！

昨年（2015 年）11 月から営業運転を開始したニューシャトルの新型車両「2020 系」が、2016 年度のグッドデザイン賞を受賞しました。

この新型車両は、従来の車両からより未来感のあるデザインに一新したものです。また、車両のカラーデザインも、ニューシャトルの新しいコンセプトである「沿線を彩る七色の輝きで未来を描くセブン・ドリーム」をモチーフとしており、現在までに導入しました 3 編成には「グリーンクリスタル、プライトアンバー、ピュアルビー」の 3 色を採用しています。

この車両の設計・製造は、三菱重工業株式会社（社長：宮永 俊一氏、本社：東京都港区）が担当しました。



## 多摩都市モノレール

全車両のロングシート化が完了

多摩都市モノレール株式会社は、ご利用のお客様の増加に伴う混雑緩和策として、平成 16 年 4 月から電車内の座席をクロスシートからロングシートへ順次交換してまいりました。このたび 10 月 6 日（木）をもって最後のクロスシート車両の使用を終了し、全車両のロングシート化が完了いたしました。

### ＜ロングシート化の目的と経緯＞

当社は、平成 10 年 11 月の第 I 期開業（立川北～上北台間）時から、ご乗車のお客様に沿線の景観を楽しんでいただけるよう、車体中央部の座席をクロスシートとしておりました。一方、沿線開発の進展などによる通勤・通学のお客様を中心とした利用者の増加に伴い、クロスシート車両ではドア付近にお客様が集中し、円滑な乗降に支障をきたす状況となっていました。

そのため、混雑緩和策として平成 16 年 4 月から順次ロングシート化を進めてきたところですが、このたび 10 月 6 日をもってクロスシート車両がロングシートへの交換作業が終了しました。

これにより、運行する全車両がロングシートとなり、ご利用のお客様にとって、より乗降しやすい車内環境となります。



(写真左)  
クロス  
シート

(写真右)  
ロング  
シート

